

東雲

熊谷東中学校だより 第9号
平成29年11月28日

学校教育目標

優しさのある生徒
志高く自ら学び考える生徒
たくましく生きる生徒

大人が手本となって

3減運動

○テレビ視聴時間

○ゲーム時間

○携帯電話時間

笑顔 志 本気を合言葉に生徒が自分と自分の学校に誇りを
持って卒業することができる学校をつくる

熊谷市立熊谷東中学校長 原口 政明

いつもいっしょ

詩人坂村真民の記念館長西澤孝一氏と臨済宗円覚寺派管長の横田南嶺氏の対談で、三歳の子どもにもわかる詩というのはいったい何であろうかと話し合われました。二人の出した結論は、「いつもいっしょ」という言葉でした。「いつもいっしょ」という一言なら、全てのものは繋がりにある、一人では存在しないという仏教の教えを3つの子どもにも伝えられる。

いつもいっしょ 坂村真民

いつもいっしょ！／これがわたしの信仰理念／木とも石とも／蝶とも鳥たちとも／いっしょ／人間はもちろん森羅万象／いつもいっしょに生き／いつもいっしょに息をする／だから一人であっても一人でない／沈むことがあっても／すぐ浮きあがる／ふしぎな奇跡が起きてくる／いつもいっしょ！／ああこの愛のことばを／となえてゆこう

これは、1年生のPA学習のしおりに書いた文章です。

1年生は、自然といっしょ、仲間といっしょ、先生といっしょ、みんないっしょの体験をしてきてくれました。

そもそも学校は、みんなで「いつもいっしょ」に学ぶところです。「いつもいっしょ」だから、頑張れるし、効果もあがります。

自閉症という障害がある子どもは、コミュニケーションをとるのを苦手としています。若い大学を出たての教員が、とてもコミュニケーションをとりにくい中1の自閉症の男子を担当しました。4月から3ヶ月ほどしても、コミュニケーションをとれません。でも、この先生は、この生徒に「いつもいっしょ」に寄り添っていました。ある時、この生徒と土手の上を散歩していました。すると、突然おしっこをはじめました。「いつもいっしょ」のその先生は、いっしょにおしっこをしました。いっしょに「の」の字を書きました。このことがあってから、この先生はこの生徒とコミュニケーションがとれるようになったそうです。これは、ある有名な大学教授の若い頃のお話です。

幼児が二人、細い道を歩いていました。すると、一人が道路わきの身の丈ほどの側溝に落ちてしまいました。もう一人は、慌てて近くの民家に助けを呼びに行きました。

「友達が、高い溝に落ちたので助けてください。」と言いました。「深い溝」ではなく、「高い溝」と言いました。落ちた子にとっては、「深い溝」ではなく、「高い溝」です。助けを呼びに行った子は、落ちてしまった子と気持ちがいっしょなのです。他人事ではなく、自分のことのように感じているのです。

二つのたとえをあげましたが、私は、生徒たちに、「いつもいっしょ」の体験を3年間の中学校生活で、積み上げていってもらいたいと思っています。長縄でも、合唱でも、部活動でも、日々の授業でも、「いつもいっしょ」の体験の連続が学校生活です。学校に質の高い「いつもいっしょ」の体験のできる場や機会を多くつくっていきます。質の高い「いつもいっしょ」の体験によって生徒の人間性を高めていきます。

お知らせ!

○ホームページを更新しています。
「熊谷東中学校」をクリックしてください。

○12/2(土)第2回資源回収です。御協力お願いいたします。

11/7(火)ムサシトミヨ増殖調査



今年のムサシトミヨ増殖調査は、11/7に守る会の江守会長をはじめ、埼玉水族館の職員、環境整備課の職員、本校環境委員で調査を行いました。今年は、夏の雨などの影響で昨年よりも減りました。

1cm～2cm 7匹

2cm～3cm 30匹

3cm～4cm 7匹

合計 44匹

11/14(火) 県民の日 ジュニア議会に参加

2-4 森 基君

2-5 多田陽菜さん



11/15(水) PTA花植え



中庭がさらに綺麗になりました。PTAの文化厚生委員会の保護者と環境委員の生徒で、中庭などの花植えをいたしました。

ゴミが落ちていたら率先して拾っていつまでも綺麗な中庭を維持していきましょう。

11/17(金) 5年経験者異校種研修会 会場



17日県内の小学校、高等学校、特別支援学校の先生方36名が本校を訪れ、研修を積みました。午前中は、1,2年生の授業の参観、掃除の時は本校が取り組んでいる「無言膝つき清掃」、5校時に長谷川教諭の英語の研究授業の参観をしました。

11/18(土) PTAバザー 169,180円収益



ネギの販売



大盛況のバザー会場



東雲学級の販売

今年は、校長先生の家からのネギの寄付があり、**4万1900円**もネギからの収益がありました。この収益は生徒のために大切に使用させていただきます。